

広報

きたはりま119

<http://www.kitaharima119.net>

災害のない明るいまちづくり

2020 SPRING
北はりま消防組合

vol. 16

- 職員の給与などを公表します
- 平成30年度決算概要
- 女性活躍推進法に基づく取り組み
- 令和元年火災・救急・救助の概要
- 各消防署ダイジェスト!
- 転倒・転落事故を防ごう
- 住宅用火災警報器の設置場所をチェックしよう
- ガソリンを携行缶で購入される皆様へ!
- 低圧進相コンデンサからの出火に注意!



令和元年火災・救急・救助件数 (1/1~12/31)

	西脇市	加西市	加東市	多可町	中国道	管外	合計
火災	16	25	20	8	0	0	69
救急	1,927	1,982	1,976	915	29	3	6,832
救助	27	57	23	8	4	0	119

北はりま消防組合の女性活躍推進法に基づく取り組み

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第17条及び北はりま消防組合女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画（平成30年12月19日）に基づき、次のとおり公表します。

1 職員採用試験における女性の受験割合（平成31年4月1日採用）

職種	男性	女性	合計	女性割合
消防士	36人	2人	38人	5.3%

2 職員採用試験における女性の採用割合（平成31年4月1日採用）

職種	男性	女性	合計	女性割合
消防士	6人	1人	7人	14.3%

3 各階級段階にある職員に占める女性職員の割合（平成31年4月1日現在）

階級	男性	女性	合計	女性割合
消防正監	1人	0人	1人	0.0%
消防監	6人	0人	6人	0.0%
消防司令長	35人	0人	35人	0.0%
消防司令	59人	0人	59人	0.0%
消防司令補	48人	1人	49人	2.0%
消防士長	18人	1人	19人	5.3%
消防副士長	18人	0人	18人	0.0%
消防士	19人	1人	20人	5.0%
合計	204人	3人	207人	1.4%

※長期研修派遣者、再任用職員及び嘱託職員は除く。

4 男女別の育児休業取得率及び平均取得期間（平成30年度実績）

男性				女性			
取得可能人数	取得者	取得率	取得期間	取得可能人数	取得者	取得率	取得期間
36人	0人	0.0%	0日	0人	0人	0.0%	0日

※取得可能人数は3歳までの児童を扶養する職員とする。

5 男性職員の配偶者出産休暇の取得等の状況（平成30年度実績）

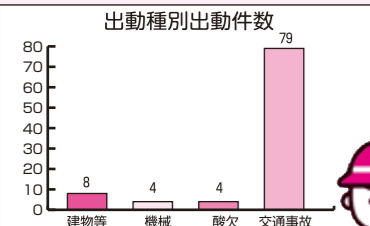
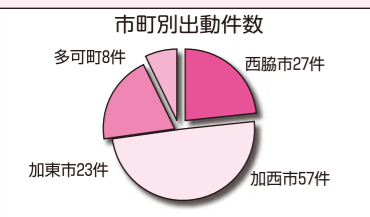
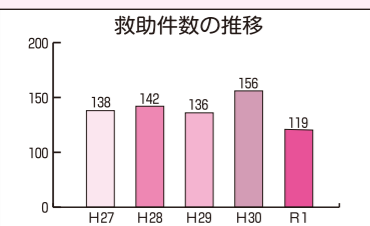
子どもが生まれた職員数		10人
取得者数		8人
取得率		80.0%
取得日数		16日

6 男性職員の育児休業の取得等の状況（平成30年度実績）

子どもが生まれた職員数		10人
取得者数		0人
取得率		0%
取得日数		0日

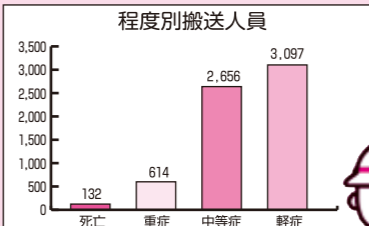
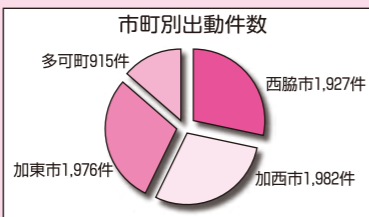
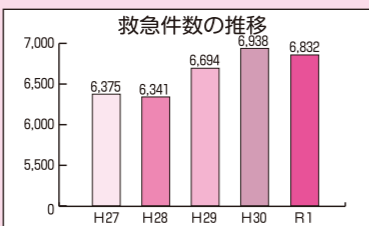
令和元年 火災・救急・救助の概要

救助出動件数119件（37件減少）
（西脇市27件、加西市57件、加東市23件、多可町8件、中国道4件）
救助種別は交通事故79件、水難事故2件、機械等4件、建物等8件、ガス酸欠事故4件、その他の事故が22件。
依然として交通事故の出動が半数以上を占めています。



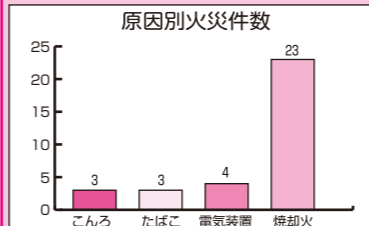
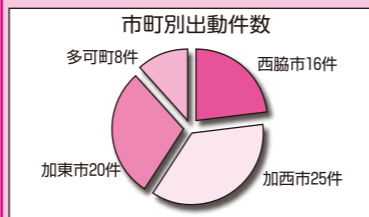
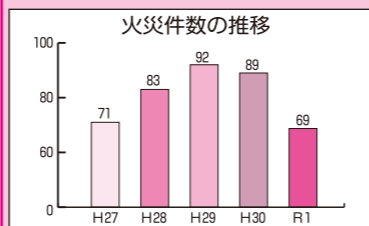
救助 交通事故が出動の大半を占めています。

救急出動件数6,832件（106件減少）
（西脇市1,927件、加西市1,982件、加東市1,976件、多可町915件、中国道29件、管外3件）
搬送人員は6,499人で、半数近くの3,097人が軽症で当日帰宅となっています。
早目に医療機関を受診し重症化を防ぐことで、救急車利用の適正化が図れます。



救急 軽症者の搬送が半数を占めています。

火災発生件数69件（20件減少）
（西脇市16件、加西市25件、加東市20件、多可町8件）
火災種別では建物火災30件、林野火災5件、車両火災8件、その他の火災が26件発生しました。
北はりま管内の特徴としては、焼却火（あぜ焼き・ゴミ焼き）が原因による火災が多く発生しています。



火災 焼却火からの火災が多発しています。

職員の給与などを公表します

北はりま消防組合人事行政の運営等の公表に関する条例に基づき、平成30年度における職員の給与や勤務条件などの状況を公表します。なお、詳細は北はりま消防本部ホームページでご覧になれます。

1 総括

(1) 人件費の状況（一般会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (平成30年4月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成29年度 人件費率
平成30年度	146,748人	2,841,427千円	21,905千円	1,784,114千円	62.8%	40.9%

(2) 職員給与費の状況（一般会計決算）

区分	職員数	給与費			
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計
平成30年度	209人	797,462千円	247,324千円	319,107千円	1,363,893千円

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、平成30年4月1日現在の人数である。

2 職員の平均給与月額及び初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢及び平均給料月額の状況（平成30年4月1日）

平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
38歳	316,398円	356,101円

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成30年4月1日における職員の基本給の平均である。
2 「平均給与月額」とは、平成30年4月1日における給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外手当などをすべての諸手当の合計額の平均である。

(2) 職員の初任給の状況（平成30年4月1日）

区分	北はりま消防組合	国(公安職(-))
大学卒	197,200円	209,700円
短大卒	181,700円	-
高校卒	167,700円	171,200円

3 消防職の級別職員数及び給料表の状況（平成30年4月1日）

区分	標準職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	消防士の職務	20人	9.6%	167,700円	324,800円
2級	消防副士長の職務	20人	9.6%	183,500円	361,600円
3級	消防士長の職務	19人	9.1%	209,900円	380,900円
4級	消防司令補の職務	49人	23.4%	249,600円	398,300円
5級	消防司令の職務	59人	28.2%	292,900円	415,700円
6級	消防司令長の職務	35人	16.7%	319,300円	425,200円
7級	消防監の職務	6人	2.9%	347,600円	440,700円
8級	消防正監の職務	1人	0.5%	381,900円	454,800円

4 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況（平成29年4月1日）

区分	勤務時間		休日等
	始業時刻	終業時刻	
毎日勤務者	8:30	17:15	・日曜日及び土曜日 ・国民の祝日 ・年末年始(12月29日～31日、1月2日～3日)
	1週間当たり 38時間45分勤務		
隔日勤務者	8:30	8:30	・日曜日及び土曜日 ・国民の祝日 ・年末年始(12月29日～31日、1月2日～3日) ※但し、警防人員が確保できるように勤務サイクルを振り分けて取得している。
	1週間当たり 38時間45分勤務		

(2) 年次休暇の取得状況（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

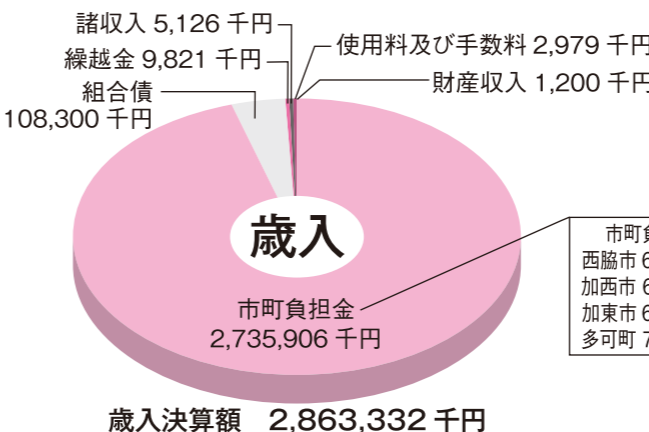
区分	取得者数	平日取得日数
全体	214人	7.63日
毎日勤務者	37人	6.21日
隔日勤務者	177人	8.7日

5 職員の分限及び懲戒処分の状況

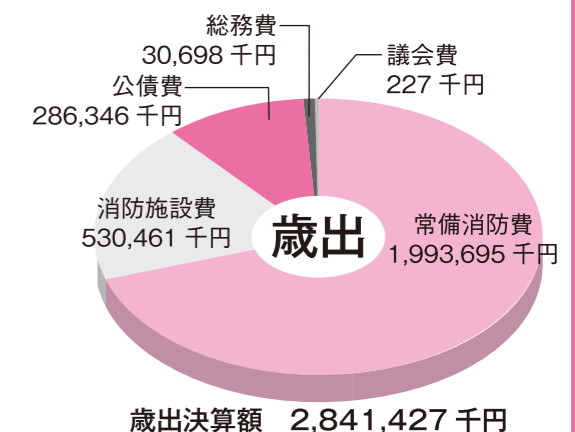
平成30年度において、分限処分は0件、法令違反による懲戒処分（停職）が1件ありました。

平成30年度 決算概要

北はりま消防組合一般会計の決算状況は、歳入総額が2,863,332千円、歳出総額が2,841,427千円で、歳入歳出差引額は、21,905千円となっています。



款	内容	金額	構成比
市町負担金	組合を構成する市町からの負担金	2,735,906千円	95.5%
使用料及び手数料	消防検査等の手数料	2,979千円	0.1%
財産収入	基金の運用利子及び財産の売却収入	1,200千円	0.1%
繰越金	前年度の繰越金	9,821千円	0.3%
諸収入	その他の収入	5,126千円	0.2%
組合債	消防施設整備のための借入金	108,300千円	3.8%



款(目)	内容	金額	構成比
議会費	組合議会の運営活動費用	227千円	0%
総務費	組合全体の事務管理費用	30,698千円	1.1%
消防費(常備消防費)	消防業務に係る費用(人件費含む)	1,993,695千円	70.1%
消防費(消防施設費)	消防施設の整備費用	530,461千円	18.7%
公債費	借入金の返済費用	286,346千円	10.1%

西脇消防署



▲西脇消防署員によるデモンストレーション

9月8日(日)「救急の日」のイベント事業として、救急フェアを茜が丘複合施設Miraie(みらいえ)で開催しました。

当日は救急車適正利用の啓発や突然心肺停止となった方への心肺蘇生法のデモンストレーション等、幅広く広報できました。



▲訓練全体の様子



▲事故車両からの救出訓練

12月10日(火)西脇消防署及び各出張所の消防隊、救急隊、救助隊及び本部指揮隊計8隊による他隊連携訓練を実施しました。

この訓練は、西脇市内に新たに開通した「日野北バイパス」付近を現場と想定したもので、各隊の連携強化を図ることができ、有意義な訓練となりました。

北はりま消防組合 救急練成会



▲患者観察する救急隊員



▲救急隊員による応急処置

令和元年度救急医療週間中の9月12日(木)13日(金)北はりま消防組合の消防署、出張所の全救急隊が参加して救急練成会を実施しました。

この訓練は、出勤途上における運転技術、現場到着後の患者観察及び処置技術、病院選定等、救急隊員3名がそれぞれの役割において実践、知識・技術を総合的に採点する競技会として行いました。

救急フェア2019

▶心肺蘇生法の様子



応急手当普及員講習会

8月7日(水)から9日(金)にかけて、西脇市内在住、在勤の方々29名を対象に応急手当普及員講習会を開催しました。

受講された方々は、各事業所内や地域において、心肺蘇生法等の講習会を実施していただいています。皆さんもいざという時のために、是非、救命講習を受講してください。

新任職員紹介

平成31年4月1日付で北はりま消防組合に採用された7名の新人消防士です。兵庫県消防学校での厳しい教育訓練を終了し、10月から各消防署に配属されました。

地域住民の安全安心を守るため、更に訓練を重ねて住民から信頼される消防官を目指します!



- 坂本雅威(21歳) 西脇消防署配属
- 岡田純弥(24歳) 加西消防署配属
- 西山恭平(23歳) 加東消防署配属
- 合田愛都(19歳) 加東消防署配属
- 高瀬和(21歳) 西脇消防署配属
- 高城颯良(19歳) 西脇北出張所配属
- 後藤浩人(20歳) 加西消防署配属

警防研修会



▲研修を受講する若手職員

北はりま消防本部では、若手職員の災害現場における的確な判断力及び臨機に対応できる活動能力の向上を目的として、警防研修会を開催しました。

1日消防体験研修



▲応急手当講習の様子

12月8日(日)加西消防署において加西市女性団体連絡会及び加西市教育委員会主催の1日消防体験研修が開催されました。

参加者は、応急手当講習や放水訓練を行い、消防の業務について体験しました。

加西消防署

BFC防災体験教室



▶クレーンによる放水訓練

11月16日(土)市内の少年消防クラブ員が消防訓練・救助訓練等を体験し、必要な防災知識を習得しました。



▲はしご車による高所からの救出



▲施設からの状況の引継ぎ

ホテルルートイン 北条の宿合同訓練

12月11日(水)、12日(木)ホテルルートイン北条の宿において、加西消防署及び南・北両出張所間の連携を向上させ、円滑な消防活動を確立させることを目的として実施しました。

また、施設における消防訓練(通報、消火及び避難訓練)を併せて実施することで、有事の際における施設側との初動体制を確立させることができました。

三木市消防署吉川分署との合同訓練

加東消防署



▲2隊による放水訓練



▲吉川分署の車両説明を聞く東条出張所員

12月17日(火)加東消防署東条出張所は、消防本部間の相互応援による連携強化を目的として、隣接地域を管轄する三木市消防署吉川分署との合同訓練を実施しました。

訓練を通して、お互いの顔が見える関係を築き有意義なものとなりました。



▲濡れタオルでの天ぷら火災消火訓練



▲水消火器を使った初期消火訓練

女性防火教室

9月11日(水)加東消防署において加東防火安全協会主催による「第35回女性防火教室」が開催されました。

加東市内の各事業所から41名の女性職員が参加され、防火意識の高揚及び消火技術の向上を図りました。

夏休み子ども防災体験教室



▲スノーケル車で「はい!チーズ」

夏休み期間中の8月3日(土)加東市内の小学校児童が来署し、防災体験教室を実施しました。

様々な消防に関する体験を通して、子ども達の防火・防災意識を高めることができました。

ガソリンを携行缶で 購入される皆様へ!

令和2年2月1日から、ガソリンの適正な使用を徹底するため、ガソリンを携行缶で購入する方に対して消防法で

- ①本人確認(運転免許証の提示など)
- ②使用目的の確認

を行うことが義務づけられました。



また、販売店においては、販売記録の作成が必要になりました。

ガソリンを取り扱うときの注意事項!

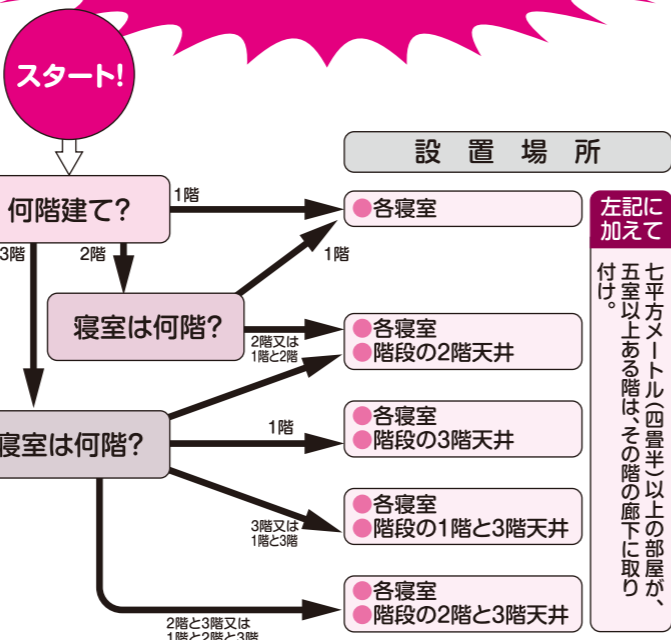


ガソリンを灯油用ポリ容器に入れることはできません!!



セルフスタンドにおいてもガソリン容器への詰替えは、ガソリンスタンドの従業員が行う必要があります!

住宅用火災警報器の 設置場所をチェックしよう!



皆様のご家庭では、住宅用火災警報器を正しく設置されていますか?
住宅用火災警報器は火災から命を守るものです。必要な場所を確認して必ず取り付けましょう。
また、設置後は定期的に点検しましょう。



音で助かる命がある!

低圧進相コンデンサからの出火に注意!

- 1 低圧進相コンデンサとは
200Vの業務用冷蔵庫やモーター等を使用する電気機器の力率を改善し、電力を効率よく使用するための機器として、店舗や作業場等で使用されています。
- 2 低圧進相コンデンサからの出火原因
1975年(昭和50年)以前に製造された低圧進相コンデンサは、保安装置が内蔵されていないため、絶縁劣化により発煙発火し、付近に可燃物があれば大きな火災になることがあります。
- 3 人がいないときでも出火する危険性があります。
低圧進相コンデンサは一般的な電気機器とは異なり、経年劣化しても低圧進相コンデンサ自体が動かなくなることはありません。そのため、異常に気が付きにくく電気機器を使用していないくても通電状態であれば、夜間でも出火する恐れがあり発見が遅れる可能性があります。
- 4 火災を防ぐためには
(1) 電気機器を使用しない時は、メインブレーカーを切り、低圧進相コンデンサに電圧がかからないようにすることが推奨されています。
(2) 1975年(昭和50年)以前に製造されたものは保安装置が内蔵されておらず、被害が拡大する可能性があります。使用を停止するか交換する必要があります。
(3) 保安装置が内蔵されたものであっても、概ね10年が経過した低圧進相コンデンサは専門業者による点検を受け、計画的に交換する必要があります。

▲低圧進相コンデンサ

▲焼損した低圧進相コンデンサ

北はりま消防組合管内では

転倒や転落などの事故で年間に約700件の救急車の出動があります
救急出動全体の約10%に相当します。

- ★転倒の発生場所の多くは段差、玄関、廊下などです★
- 段差につまずかないよう気をつけましょう
 - 転倒を防ぐために整理整頓を心がけましょう
 - 階段、廊下、玄関、浴室など滑り止め対策をしましょう

- ★転落の発生場所の多くは階段、ベッド、脚立などです★
- 階段などには手すりを取り付けましょう
 - ベッドにも転落防止の柵をつけましょう
 - 脚立などを使用して作業をする時は支えてもらいましょう

事故を防ぐために 事故防止にはご家族などの協力も大変重要です

事故の原因を知って対策をしましょう

救急隊員手記
「救急隊として目指すこと」
救急隊員 K.O.

北はりま消防組合では、西脇消防署内で救急技術錬成会という、救急隊員の知識・技術向上のための訓練が9月の救急医療週間にあわせて行われ、北はりま消防組合各署所から20隊、総勢60名もの救急隊員が参加し、私は救急隊長としての訓練に挑みました。

この訓練は、1隊ごとに救急現場を模した訓練内容で救急活動を実施し、隊ごとの迅速な活動や判断、安全性に加え救急車の運転技術についても評価されました。

また、事前に訓練の想定内容が一切知られていないため、審査には口頭の訓練や現場で養ってきた経験や知識が大いに反映されます。訓練に挑む隊員たちはみな真剣そのもので、災害現場に似た緊張感が漂っていました。

いよいよ私の隊の順番となり、救急車に乗車すると、訓練開始の合図とともに、20代男性、椅子の上に立ち天井の電球を交換していたところ、誤って転倒し負傷。という想定が与えられました。

機関員の運転で、三角コーンで組まれたコースを巧みに操作しながら傷病者の元に駆け寄り寄ります。訓練現場では、傷病者や家族役の職員が迫真の演技力で、現場さながらの雰囲気が出ています。与えられた時間内で、全身の観察やバイタルの測定、情報聴取を隊員と連携しながら素早く実施。観察の結果から、頭部打撲と頸椎損傷が疑われ、容態が悪化しないよう応急処置を行い、これらの治療が可能な病院を選定し、訓練終了となりました。

この訓練を終えて、改めて思ったのは、救急隊として任務を全うするためには、訓練の積み重ねが何よりも大切だということです。救急隊には本当にたくさんの方々の知識や技術が求められます。傷病者の元へいち早く駆け付けられるために、最短の走行経路を考え、狭隘な道をすり抜けていく機関員の運転技術、傷病者や家族へのコミュニケーション能力、ケガや疾患などに対する応急処置、症状にあった適切な病院選定。救急隊は極めて短時間の中で、数多くの判断や処置を行わなければなりません。

私は、救急救命士として数多くの救急現場を経験してきましたが、今までと同じ現場はありませんでした。出動する先々では、現場が混乱状態で一刻の猶予も許されないことも多く、瞬時の判断が求められます。だから、今回の訓練のように、あらゆる救急現場を想定して、訓練を積み重ねることは大変意義のあることだと思います。あらゆる状況の中でも、任務を的確に遂行し、住民の方々から信頼される救急隊を目指して、これからも日々研鑽していきたく思います。

IP電話から、119 又はFAX 119 通報をご利用される方へ

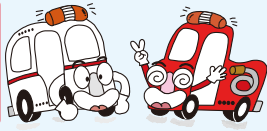


近年、インターネット回線を介したIP電話をご利用される方が増えていますが、IP電話は契約内容によって、119又はFAX 119通報ができないものがあります!!



IP電話をご利用の際は、契約内容をご確認いただき、119又はFAX 119通報ができるかどうか確認をしてください。ご不明の場合は、ご契約されている電話会社に問い合わせさせていただきますよう、お願いいたします。

がんばれ!
しょうちゃん
きゅうちゃん
その8



収れん火災が発生しやすい時期
収れん火災は、日差しの強い昼間、あるいは夏に発生しやすいと思われがちであるが、夕方あるいは冬に比較的多く発生することが知られている。夕方や冬の方が、昼間や夏に比べて太陽の角度が低いため、室内に太陽光がより差し込みやすいためであると考えられている。

収れん火災の予防
凸レンズ及び凹面鏡の役割を果たす可能性のある物体は、直射日光の当たらない場所に置くこと、外出時はカーテンを閉めて室内に直射日光を入れないことなどが有効である。

住宅用火災警報器を設置しましょう!



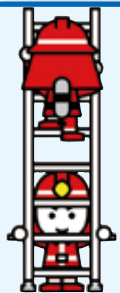
わが家の 消防士



りとくん しおんくん そらくん

わが家の 消防士 大募集!!

あなたのお子様も消防士や救命士になって写真を撮ってみませんか?
北はりま消防本部には約100センチサイズの活動服や救命士服があります。
気軽にお問合せください。



警防部警防課 (平日 9:00~17:00)
電話: 0795-27-8123
E-mail: fd_keibo@kitaharima119.net

お問合せ先



幼児用の活動服を作りました
2歳児向けに80センチサイズの活動服を作りました。
従来の100センチサイズと合わせて兄弟、姉妹で消防士になって写真撮影しませんか!

北はりま消防のスーパーマン

今年で採用から12年目を迎える、見た目がものすごく怖いY内主任。(筆者は先輩ですが、最初は怖くて声もかけられませんでした。)しかし、そんな見た目は裏腹な性格が特徴的な彼。その性格は、実に繊細ナイーブ優しさあふれる人柄で、皆から愛されています。(後輩からもうじつられています。笑)

そんなY内主任は今年度から消防本部総務課へ異動。Y内主任は、1年目から当組合の条例改正、全職員の間用装備品の契約など、難しい事務仕事を淡々とこなしています。また、Y内主任の活躍は事務だけではありません。彼は救急救命士の資格を持ち、救急現場では的確な判断力で人命救助にも携わり活躍。さらに、家に帰れば1歳の子供の育児にも奮闘されているそうです。(彼が言うには、お父さんを見るたびに「汗」そんな彼はまさに、事務も現場も育児もこなせる消防のスーパーマン!!(見た目が怖いので映画みたいなヒーロ感はないかな。笑)つらやましい限りです。

そんな彼を事務所や現場で見かけた際は、温かいご声援を送ってくださいませ。すようお願いします。



▲災害現場に備えながら事務をするY内主任。